

会議名	第2回港区南麻布学童クラブ運営事業候補者選考委員会
開催日時	令和元年8月22日(木) 10時から 12時まで
開催場所	麻布区民協働スペース スペース1
委員	出席者 5名 岡田委員長、有賀副委員、安梅委員、請川委員、野上委員
事務局	麻布地区総合支所管理課 加茂課長、施設運営担当 駒井係長、漆家、川上
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 議題の審議 議題1 第一次審査通過者の決定について 議題2 第二次審査について (1)プレゼンテーションについて (2)追加要望資料の有無について 4 今後のスケジュール 5 閉会
配付資料	[席上配布] 資料1 第一次審査集計表 資料2 第一次審査コメント一覧 資料3 第一回港区南麻布学童クラブ運営事業候補者選考委員会会議録 資料4 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)の方法について 資料5 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)表
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 2 議題の審議 【議題1 第一次審査通過者の決定について】 第一次審査結果について説明 A事業者：837点 B事業者：731点 C事業者：668点 なお、A事業者が区内事業者の加点対象ですので、一次審査評価点の5%を加算しています。
委員長	また、ワークライフバランス推進企業の該当はありません。 それでは第一次審査について審議いたします。 まず、採点の結果について各委員から講評をお願いします。

B委員	<p>第1印象として、それほど大きな差がないように感じました。</p> <p>その中でも、A事業者が最もしっかりしていて、C事業者が少し劣ると思いました。A事業者で特に高く評価したのは、4（1）の項目の「帰宅のサポート」がしっかりしている点と、4（4）アレルギー対応で、「必ず職員が同席」することで行き届いた配慮をしている点です。</p>
C委員	<p>私も3つの事業者さんに大きな差があるという感じではなく、どこも一定レベルは超えていると感じました。</p> <p>より具体的にその地域の特性を活かしているという点では、A事業者さんが強いと思ったため、高く評価しました。</p> <p>3（3）勤務体制の項目で、C事業者に2点つけました。C事業者の提案書7ページ「勤務体制」では、土曜日が責任者と学童クラブ主任、常勤Aがお休みで、常勤BCDEが出勤となっています。しかし、責任者も休む必要があります。それにより、土曜日の責任者の体制はどうなるのかが心配だったので点数を低くしました。</p> <p>全体として、A事業者160点、B事業者145点、C事業者139点で、ABCという順番になりました。</p>
E委員	<p>私もABCの順番になりました。</p> <p>A事業者はかなり具体性がある内容だと思いました。B事業者も理念ははっきりしていました。しかし、C事業者はいずれもどちらかがぼやけている印象がありました。A事業者に関しては、帰宅サポート、安全教育、地域との連携といった点が充実していること、特に、スーパーバイザーや心理士といった本部バックアップもかなり充実していると思いました。また、寝坊防止の「目覚ましコールの導入」は面白いと思いました。一方で、施設長の年齢の記載がなく、勤務経験年数が6年ということが十分なのか疑問に思ったため、点を下げました。</p> <p>B、C事業者に関しては、特に費用対効果を見ました。経費の総額はほぼ変わりませんが、A事業者と比べると人数が充実しているため、費用対効果という点ではBとCはAに勝っていると思いました。</p> <p>C事業者について、事務局に確認があります。6ページと7ページで常勤職員の人数が違うと思います。6ページでは、施設長と主任を含めた常勤職員は6人いると読めますが、7ページでは、常勤が7人いると読めます。なぜ、6ページと7ページで人数の差があるのでしょうか。</p> <p>最後に、私が3（3）勤務体制の項目に5点をつけたのは、他2社と比較して、土曜日の職員数が多いからです。オーバースペック気味でもあるとは思っていましたが、先ほど委員Bのお話を聞いて、確かにそうだと思いますので、あとで点数を調整させていただきたいと思います。</p>
D委員	<p>私は、A事業者が168点、B事業者が160点、C事業者が129点としました。</p> <p>AとB事業者はあまり差がないが、A・BとC事業者は非常に差があると思いました。安全安心に対する取組や、子供から相談を受ける姿勢、人材確保職員の定着への具体的な取組という点で、A・B事業者は非常に良いと思いました。</p> <p>C事業者は全体的に記述がわかりにくく、具体性に乏しいため、この分野に不慣れな感じがしました。資料も読めない箇所があるため、雑な印象を受けます。例えば、「地球人」という表現や、「六つの能力が備わっている」という記述があり、何を伝えたいのかよくわかりませんでした。さらに、本質をとらえていないと感じる表現も随所に見られました。</p>

A委員	<p>A・B事業者につきましても、地域とともに事業を構築し、施設のあり方を考えているという点が共通で良いと思いました。特にA事業者は、県の研修を受託するほどのレベルの職員研修やお迎えに対する丁寧な考え方が良いと思いました。</p> <p>他の委員の皆様の点数と同様に、私もABCの順番でした。</p> <p>理念や指導致案を特に重視して、採点しました。</p> <p>Aについては港区の実績もあり、明確な基本理念、健全育成の考え方、報告体制・連絡体制がしっかりしていると感じました。さらに、近隣の環境を熟知した安全確保がなされている点が良いと思いました。</p> <p>B・C事業者については、要点は抑えているものの、説明が物足りないと感じました。B事業者は職員の欠員した時の対応がもの足りないと思いました。</p> <p>C事業者は、港区の実績が足りないこともあり、環境を熟知した対応がなされていないと感じました。</p> <p>また、A事業者が職員の働くことへのモチベーションを大事にしているのに対し、BCは普通の取組のみであるため、劣ると感じました。</p>
事務局	<p>委員Cからのご指摘について、事業運営費の見積もりでは常勤職員の配置が5人となっており、6ページに記載されている常勤職員の配置数「4名」という記載については、誤記載であると思われます。</p>
委員長	<p>各委員からご意見伺いました。</p> <p>点数の修正をされたい委員はいらっしゃいますか。</p>
E委員	<p>施設において、職員数が多ければよいというわけではないということと、土曜日の責任者について疑問が残ることから、満点ではないと思いました。</p> <p>よって、C事業者の3(3)勤務体制についての採点を5点から4点に改めます。</p>
委員長	<p>それでは、第一次通過者の決定をしたいと思います。</p> <p>事務局から点数の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>第一次審査の集計結果は、事業者837点、B事業者731点、C事業者は667点です。</p> <p>順位は、A事業者→B事業者→C事業者です。</p>
委員長	<p>それでは、この点数に確定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(承諾)</p>
委員長	<p>続いて、第一次審査通過事業者を決定したいと思います。</p>
D委員	<p>40点の加算を除いて、提案事業の内容を比べると、C事業者が劣ると思いました。</p> <p>A事業者とB事業者にも点差はありますが、C事業者のみが600点台ということもあるので、第二次選考ではAとBを審査することがよいと思えます。</p>
委員長	<p>反対意見はございますか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
委員長	<p>それでは第一次審査通過事業者は、A事業者とB事業者の2社に決定いたします。</p>
事務局	<p><b>【議題2 第二次審査について】</b></p> <p>第二次審査について説明</p>
委員長	<p>まず、プレゼンテーションの方法について、ご意見ございますか。</p>
B委員	<p>パソコンの使用はトラブルが懸念されます。追加資料として概要版A3・1枚の資料を求めることが多いと思えます。</p>

E委員	パソコンを用いる方法は、グラフィックやデザインなどの技術力を見る必要があるプロポーザルでは優れていますが、今回はそうしたものではなく、また、多岐にわたる項目が提案書に細かくまとまっているため、パソコンは必要ないと思います。
D委員 委員長	提案の概要をA3・1枚にまとめたものの提出を認めるとするのがよいと思います。パソコンは使用しないということ、提案書の範囲内でA3・1枚の概要版の提出を認めるということによろしいでしょうか。
委員一同 委員長	(承諾) 次に、プレゼンテーションの条件についてです。必ず施設長が出席し、主に話していただきます。出席者数についてご意見ありますか。
D委員 事務局 委員長	事務局から提案をお願いします。 施設長含めて3名以内とご提案させていただきます。 施設長の出席、施設長が主に話すということ、出席者は3名以内といたします。
委員一同 委員長	(承諾) 追加資料について、A3・1枚の概要版以外にありますか。
A委員	施設長の詳細な履歴書の求めるのはいかがでしょうか。
E委員 委員一同	A事業者の施設長の年齢がわからないため追加資料として求めたいです。 (承諾)
E委員	最後に、確認したい点が1つございます。 A事業者の常勤職員の月額が事業運営費と開設準備費で異なりますが、理由はございますか。
事務局 委員長	事業運営と開設準備で想定従事時間が異なるためです。 前者では月160時間、後者では月80時間を想定しています。 最後に改めて確認いたします。
委員一同	・プレゼンテーションではパソコン使用せず、提案書の範囲内でA3・1枚の概要版の提出を認めます。 ・必ず施設長が出席すること、基本的なプレゼンは施設長がすること、出席者数は3名以内という3点をプレゼンテーションの条件とします。 ・追加資料は施設長の詳細な履歴書A4・1枚を提出していただきます。 よろしいでしょうか。
事務局	(承諾)  4 今後のスケジュールについて 今後のスケジュールについて説明
	5 閉会